

# 徳島県のジェネリック医薬品使用実態に関する調査結果

レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）の第三者提供によりデータ提供を受け、集計、解析した。

## （提供レセプト情報）

- 申出年月日：2018/7/25
  - データ利用開始：2019/6/28
  - レセプト種類：医科(入院外)レセプト、調剤レセプト
  - 抽出期間：診療月（平成27年4月から平成30年3月）
  - 提供形式：集計表情報
- 医療圏別、年齢層別ジェネリック医薬品使用割合の過去3年間推移  
 → H27～H29年度診療 医科(入院外)レセプト、調剤レセプトによる医薬品使用数量の集計データ
- 医療圏別、施設分類別、年齢別の一般名処方状況  
 → H29年度診療 医科（入院外）レセプトによる診療行為算定回数の集計データ
- 薬効群によるジェネリック使用割合  
 → H29年度診療 調剤レセプトによる薬効群別医薬品使用数量の集計データ

## 【1.5次医療圏別市町村】

1. 5次医療圏	市町村				
東部Ⅰ	徳島市	鳴門市	佐那河内村	石井町	神山町
	松茂町	北島町	藍住町	板野町	上板町
東部Ⅱ	吉野川市	阿波市			
南部Ⅰ	小松島市	阿南市	勝浦町	上勝町	那賀町
南部Ⅱ	牟岐町	美波町	海陽町		
西部Ⅰ	美馬市	つるぎ町			
西部Ⅱ	三好市	東みよし町			

## 【H29施設数】

1. 5次医療圏	診療所	病院	医療機関計	薬局
東部Ⅰ	403	66	469	247
東部Ⅱ	68	7	75	20
南部Ⅰ	85	16	101	61
南部Ⅱ	17	4	21	16
西部Ⅰ	33	9	42	19
西部Ⅱ	25	8	33	20
(計)	631	110	741	383

## 【結果】

### 1. ジェネリック医薬品使用割合

- 各年齢層、地域において、H27年からH29年の3年間の推移は、すべて増加傾向となっている。
- 10歳未満、10代、20代のジェネリック割合では、地域差が大きい。
  - 南部Ⅰが他地域より低く、南部Ⅱが高い。

### 2. 一般名処方率

- 一般名処方率は、南部Ⅱ、西部Ⅰの順で高いが、地域により年齢傾向が異なる。
  - 南部Ⅱでは、10歳未満が最も多く年齢が上がるとともに一般名処方率が減少。
  - 西部Ⅰでは、10歳未満が最も少なく、年齢が上がるとともに、一般名処方率が増加。
  - 多くの地域で、10歳未満の一般名処方率が高いが、西部Ⅰのみ10歳未満が低い。
- 病院、診療所別では、診療所の一般名処方率が病院の約2倍となっている。
  - 医療機関のアンケートからは、病院の方が、ジェネリック医薬品の変更が一般名処方にするよりも変更しやすいと考える機関が多い

### 3. ジェネリック医薬品割合と一般名処方率の関連

- 南部Ⅱでは一般名処方率増加に伴って、ジェネリック割合も増加。
  - 医療機関アンケートから、南部Ⅰ、Ⅱでは、「一般名処方がジェネリック医薬品の変更をしやすいとする」と考えている機関が約3割あった。一方で、「一般名処方が薬局での変更後押しする」と考える機関が約2割と他地域より低い。
- 西部Ⅰ、Ⅱでは、他地域と比して、ジェネリック割合の増加は一般名処方率のみの影響でなかった。

### 4. 薬効群別ジェネリック医薬品割合

- 全国と差が多い内服薬効群の上位3つとしては、  
止血剤、その他のホルモン剤、総合感冒剤。
  - 全国平均をジェネリック医薬品割合では下回っているが、ジェネリックに変更しやすいとアンケート回答があった総合感冒剤、ビタミン剤、解熱鎮痛剤、血圧降下剤などの薬効群では、ジェネリック変更が進めやすいと考えられた。
- 全国と差が多い外用薬効群の上位3つとしては、  
皮膚軟化剤、化膿性疾患用剤、寄生性皮膚疾患用剤。

## ジェネリック医薬品使用割合(H27年度～H29年度)

## 【H27年度】

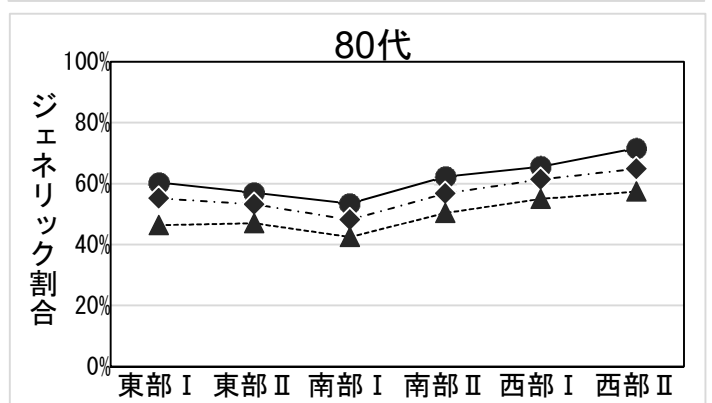
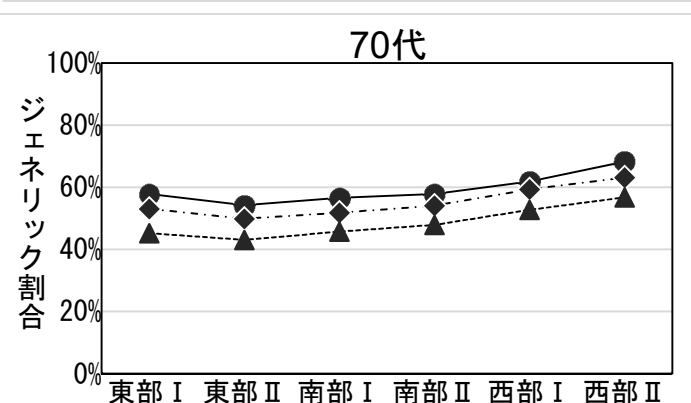
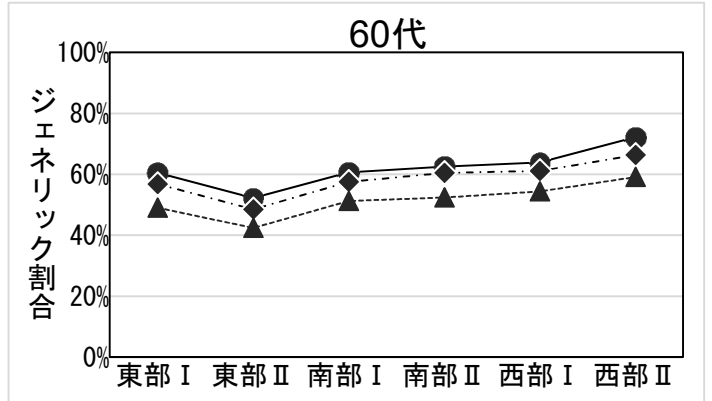
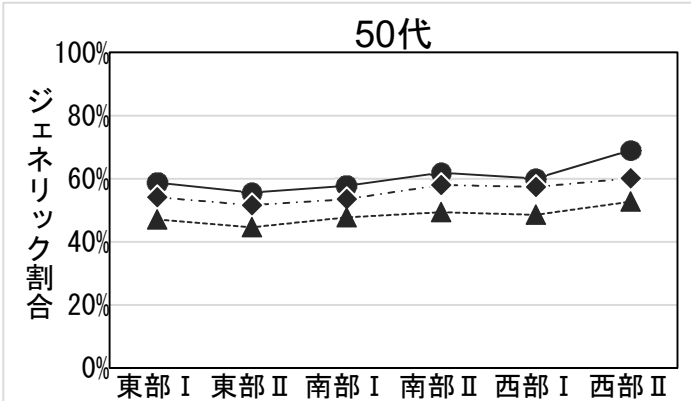
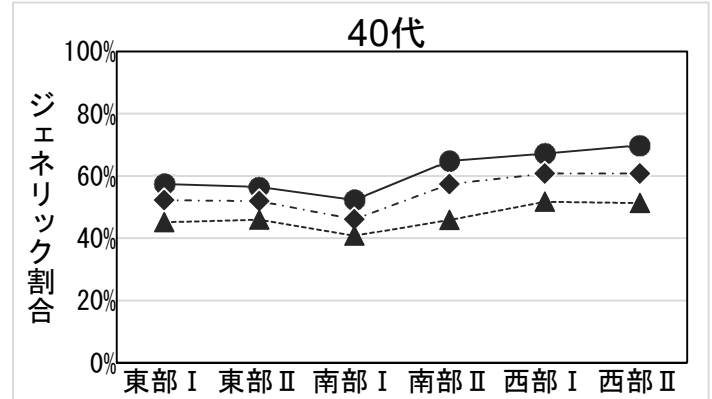
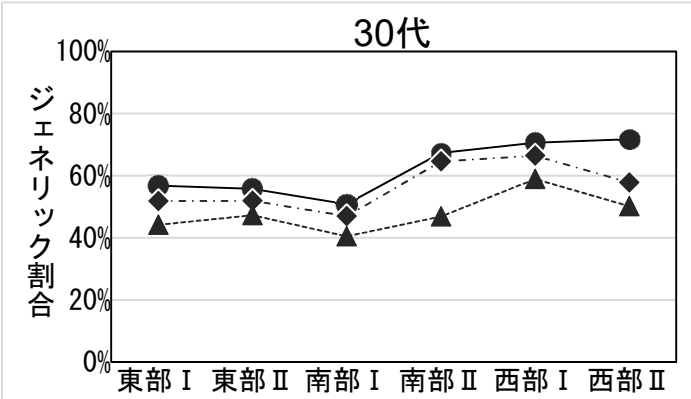
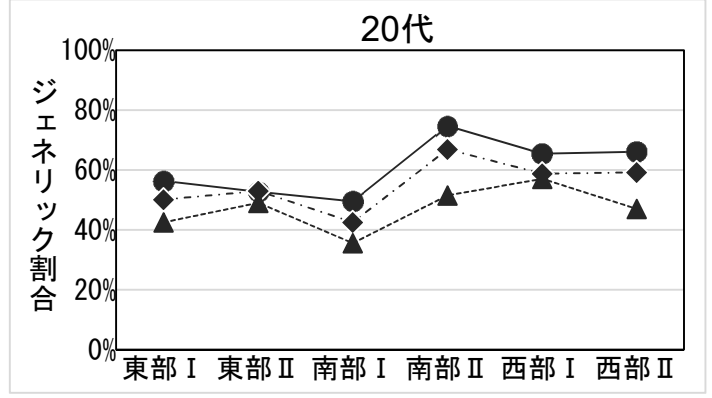
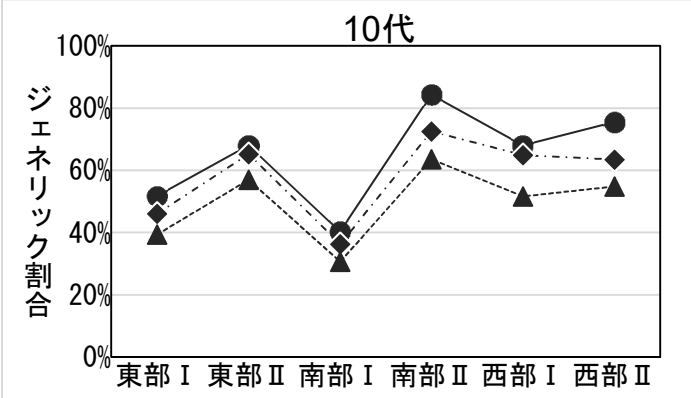
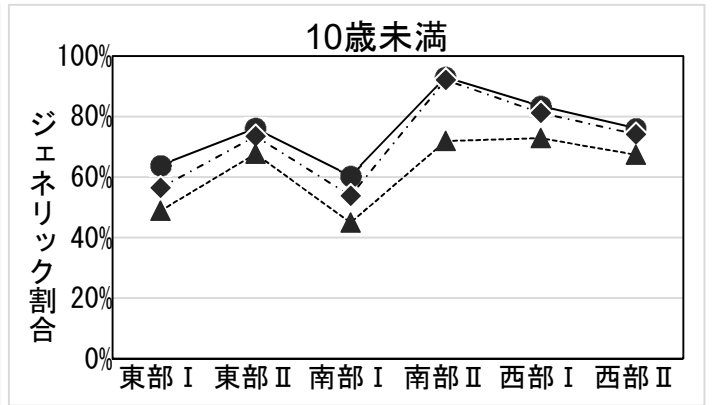
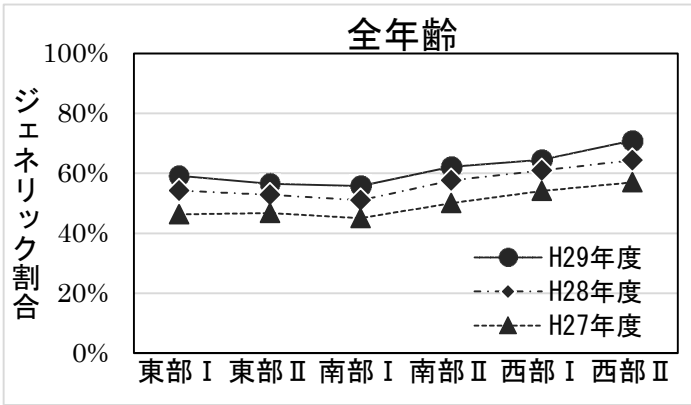
1.5次医療圏	徳島県	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
東部Ⅰ	46.4%	48.8%	39.4%	42.6%	44.2%	45.2%	47.1%	49.1%	45.3%	46.4%
東部Ⅱ	46.8%	67.7%	57.0%	49.2%	47.3%	46.0%	44.7%	42.4%	43.1%	47.1%
南部Ⅰ	45.1%	45.0%	30.7%	35.7%	40.5%	40.9%	47.8%	51.3%	45.8%	42.6%
南部Ⅱ	50.2%	72.0%	63.6%	51.6%	46.9%	45.9%	49.5%	52.5%	47.9%	50.4%
西部Ⅰ	54.1%	72.9%	51.6%	57.1%	58.9%	51.7%	48.6%	54.4%	52.8%	55.1%
西部Ⅱ	57.1%	67.4%	54.9%	47.0%	50.2%	51.3%	52.8%	59.2%	56.8%	57.4%
徳島県	47.4%	51.7%	41.3%	42.4%	44.2%	44.7%	47.4%	50.0%	46.5%	47.6%

## 【H28年度】

1.5次医療圏	徳島県	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
東部Ⅰ	54.3%	56.5%	46.1%	50.1%	51.9%	52.3%	54.1%	56.9%	53.1%	55.2%
東部Ⅱ	52.9%	73.6%	65.3%	53.1%	51.9%	51.9%	51.6%	48.6%	49.9%	53.3%
南部Ⅰ	51.1%	53.8%	36.4%	42.6%	47.0%	46.1%	53.5%	57.6%	51.9%	48.2%
南部Ⅱ	57.7%	92.1%	72.6%	67.0%	64.6%	57.4%	58.1%	60.5%	54.1%	56.8%
西部Ⅰ	61.0%	81.2%	64.9%	58.8%	66.4%	60.8%	57.4%	61.2%	59.4%	61.4%
西部Ⅱ	64.4%	74.2%	63.5%	59.3%	57.8%	60.8%	60.1%	66.4%	63.2%	64.9%
徳島県	55.1%	59.6%	48.5%	50.4%	52.2%	52.3%	54.6%	57.5%	53.9%	55.6%

## 【H29年度】

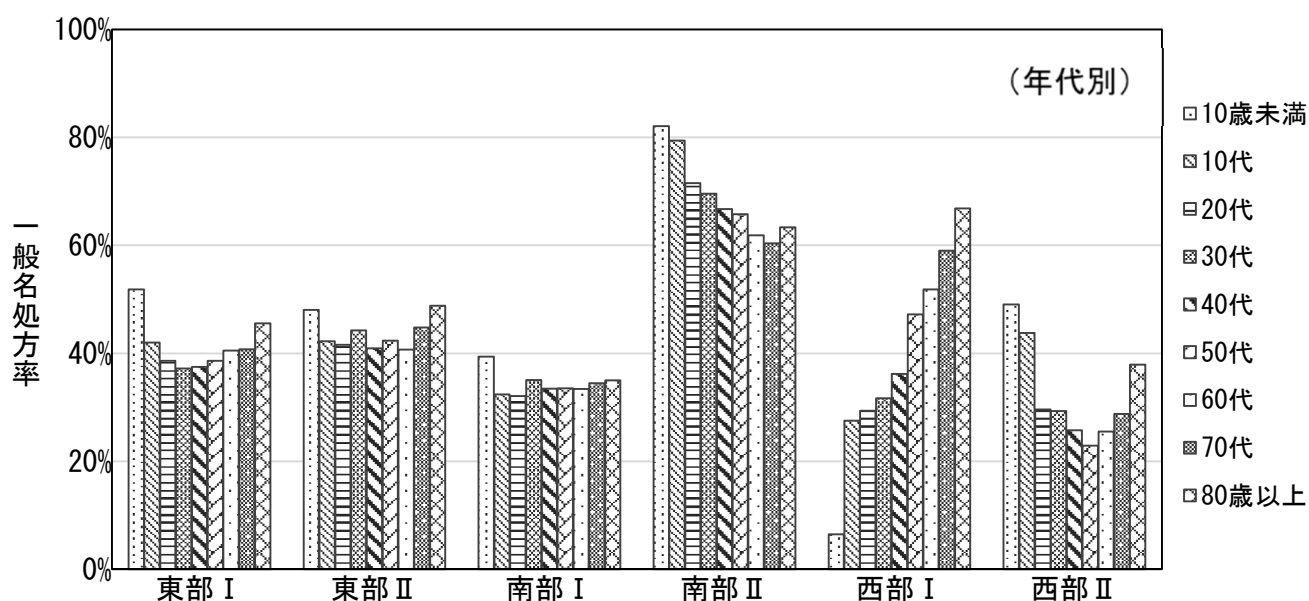
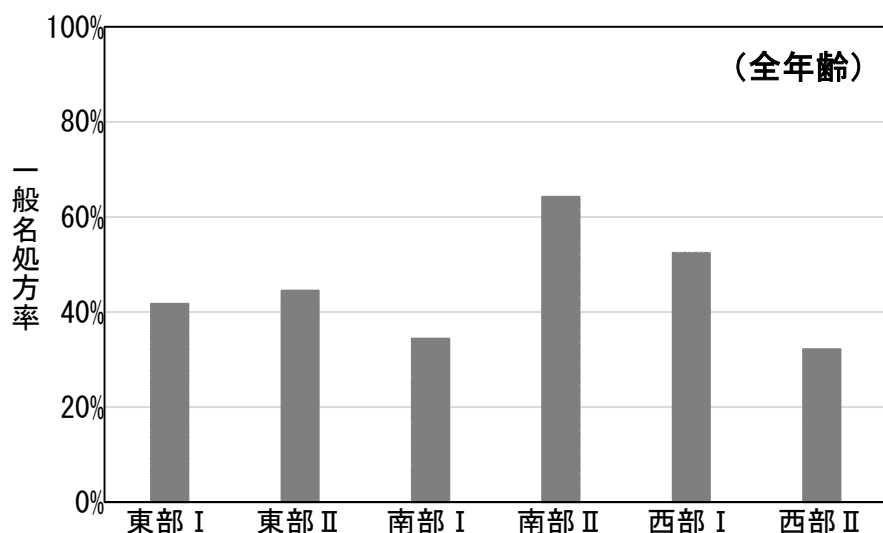
1.5次医療圏	徳島県	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
東部Ⅰ	59.2%	63.9%	51.7%	56.3%	56.8%	57.4%	58.8%	60.6%	57.8%	60.4%
東部Ⅱ	56.5%	76.1%	68.0%	52.7%	55.7%	56.5%	55.6%	52.3%	54.2%	57.0%
南部Ⅰ	55.7%	60.4%	40.2%	49.5%	50.8%	52.2%	57.7%	60.7%	56.6%	53.5%
南部Ⅱ	62.1%	93.0%	84.3%	74.7%	67.3%	64.8%	61.9%	62.6%	57.9%	62.3%
西部Ⅰ	64.5%	83.5%	68.0%	65.5%	70.6%	67.2%	60.1%	63.9%	61.9%	65.5%
西部Ⅱ	70.9%	76.1%	75.5%	66.1%	71.7%	69.9%	69.0%	72.2%	68.3%	71.6%
徳島県	59.2%	64.8%	53.2%	56.2%	57.0%	57.4%	58.8%	60.6%	57.9%	60.0%



# 一般名処方率（医療圏別）

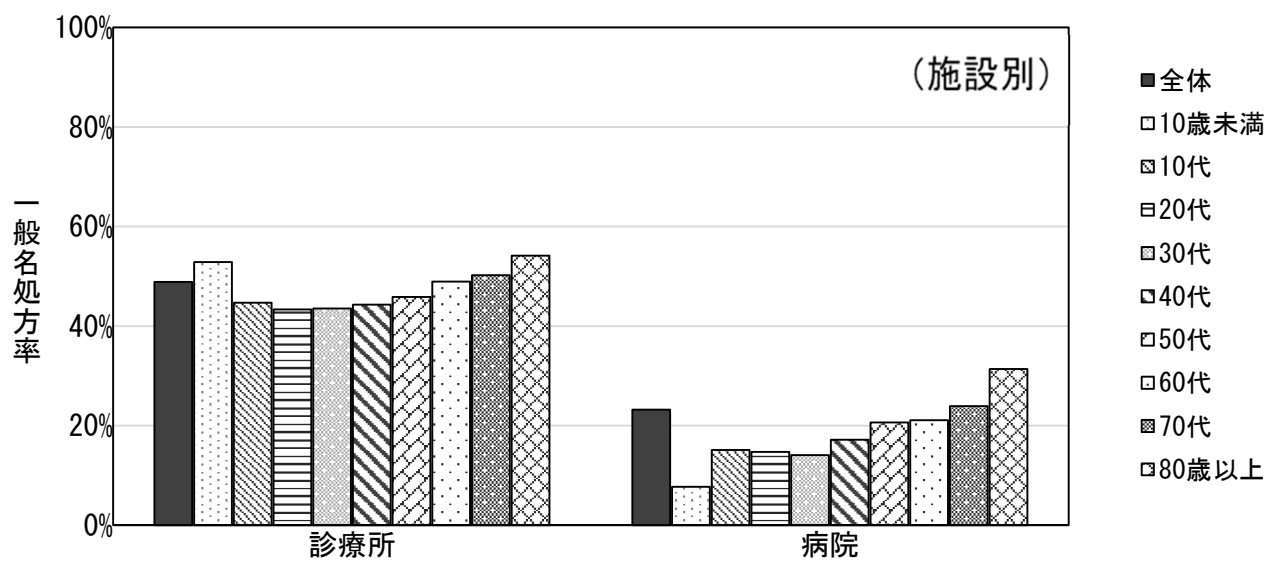
1.5次医療圏	全体	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
東部Ⅰ	41.8%	51.8%	42.0%	38.6%	37.2%	37.5%	38.6%	40.5%	40.7%	45.6%
東部Ⅱ	44.5%	48.0%	42.2%	41.6%	44.3%	41.0%	42.3%	40.7%	44.8%	48.8%
南部Ⅰ	34.4%	39.4%	32.4%	32.1%	35.0%	33.5%	33.5%	33.4%	34.4%	35.0%
南部Ⅱ	64.3%	82.1%	79.4%	71.6%	69.6%	66.8%	65.8%	61.9%	60.4%	63.3%
西部Ⅰ	52.5%	6.5%	27.5%	29.3%	31.7%	36.2%	47.2%	51.8%	59.0%	66.9%
西部Ⅱ	32.2%	49.1%	43.8%	29.6%	29.3%	25.7%	22.9%	25.5%	28.8%	37.9%

(一般名処方率=一般名処方加算1, 2件数/処方せん料件数\*100)

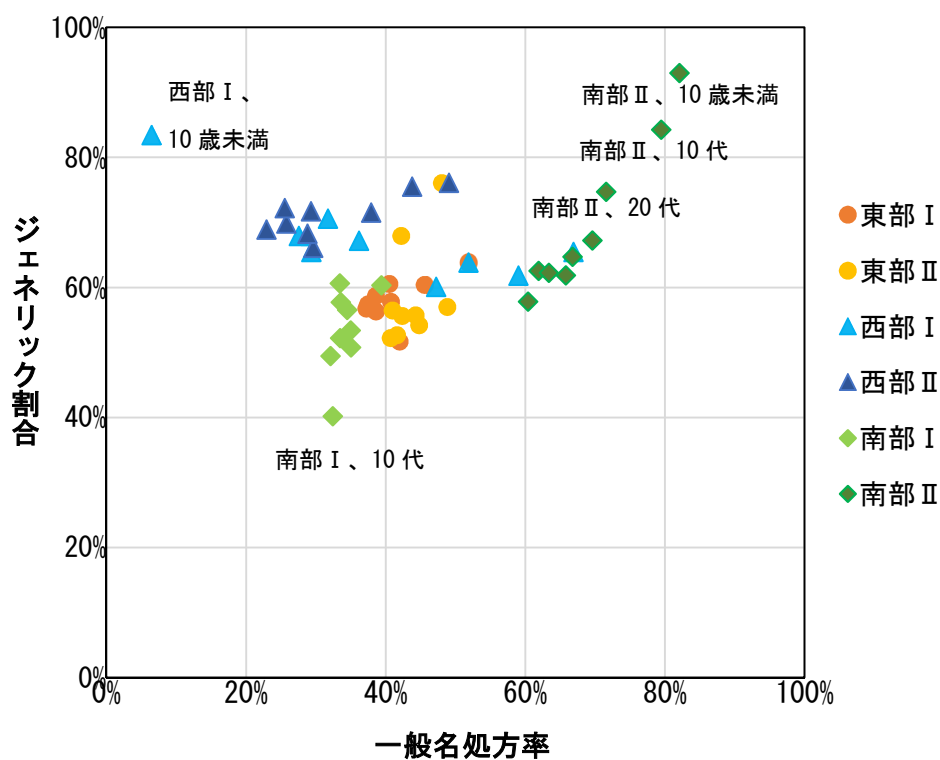


## 一般名処方率（施設圏別）

施設別	全体	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
診療所	48.9%	52.8%	44.7%	43.3%	43.5%	44.3%	45.9%	48.9%	50.2%	54.1%
病院	23.2%	7.7%	15.1%	14.7%	14.0%	17.1%	20.6%	21.1%	23.9%	31.4%



## 一般名処方率とジェネリック割合

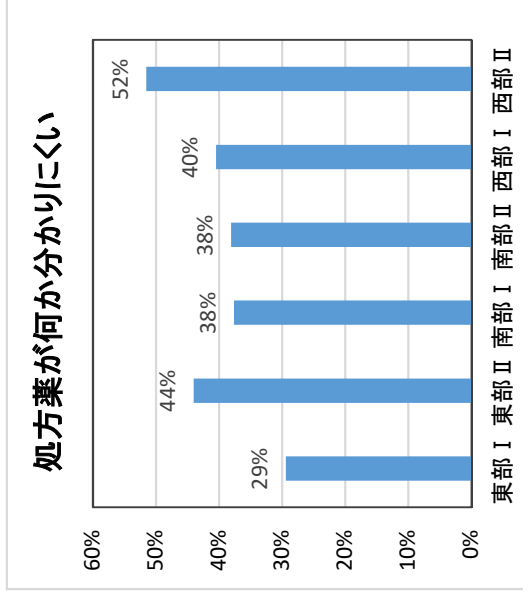
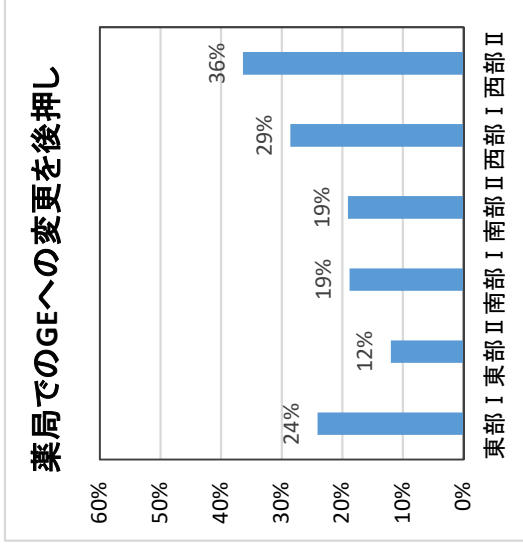
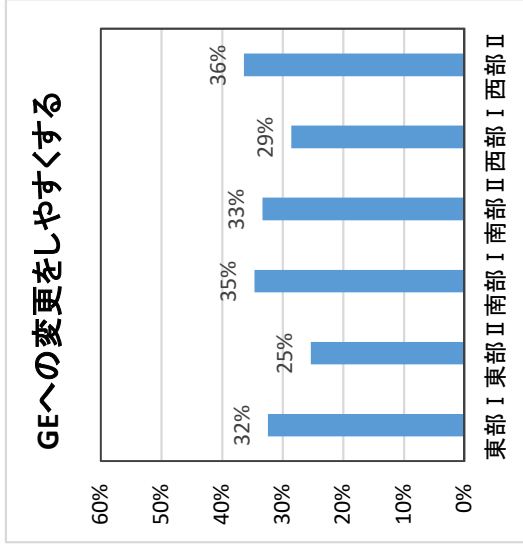


1.5次医療圏	年齢層	一般名処方率	ジェネリック割合	1.5次医療圏	年齢層	一般名処方率	ジェネリック割合
東部Ⅰ	10歳未満	51.8%	63.9%	東部Ⅰ	50代	38.6%	58.8%
東部Ⅱ	10歳未満	48.0%	76.1%	東部Ⅱ	50代	42.3%	55.6%
南部Ⅰ	10歳未満	39.4%	60.4%	南部Ⅰ	50代	33.5%	57.7%
南部Ⅱ	10歳未満	82.1%	93.0%	南部Ⅱ	50代	65.8%	61.9%
西部Ⅰ	10歳未満	6.5%	83.5%	西部Ⅰ	50代	47.2%	60.1%
西部Ⅱ	10歳未満	49.1%	76.1%	西部Ⅱ	50代	22.9%	69.0%
東部Ⅰ	10代	42.0%	51.7%	東部Ⅰ	60代	40.5%	60.6%
東部Ⅱ	10代	42.2%	68.0%	東部Ⅱ	60代	40.7%	52.3%
南部Ⅰ	10代	32.4%	40.2%	南部Ⅰ	60代	33.4%	60.7%
南部Ⅱ	10代	79.4%	84.3%	南部Ⅱ	60代	61.9%	62.6%
西部Ⅰ	10代	27.5%	68.0%	西部Ⅰ	60代	51.8%	63.9%
西部Ⅱ	10代	43.8%	75.5%	西部Ⅱ	60代	25.5%	72.2%
東部Ⅰ	20代	38.6%	56.3%	東部Ⅰ	70代	40.7%	57.8%
東部Ⅱ	20代	41.6%	52.7%	東部Ⅱ	70代	44.8%	54.2%
南部Ⅰ	20代	32.1%	49.5%	南部Ⅰ	70代	34.4%	56.6%
南部Ⅱ	20代	71.6%	74.7%	南部Ⅱ	70代	60.4%	57.9%
西部Ⅰ	20代	29.3%	65.5%	西部Ⅰ	70代	59.0%	61.9%
西部Ⅱ	20代	29.6%	66.1%	西部Ⅱ	70代	28.8%	68.3%
東部Ⅰ	30代	37.2%	56.8%	東部Ⅰ	80歳以上	45.6%	60.4%
東部Ⅱ	30代	44.3%	55.7%	東部Ⅱ	80歳以上	48.8%	57.0%
南部Ⅰ	30代	35.0%	50.8%	南部Ⅰ	80歳以上	35.0%	53.5%
南部Ⅱ	30代	69.6%	67.3%	南部Ⅱ	80歳以上	63.3%	62.3%
西部Ⅰ	30代	31.7%	70.6%	西部Ⅰ	80歳以上	66.9%	65.5%
西部Ⅱ	30代	29.3%	71.7%	西部Ⅱ	80歳以上	37.9%	71.6%
東部Ⅰ	40代	37.5%	57.4%				
東部Ⅱ	40代	41.0%	56.5%				
南部Ⅰ	40代	33.5%	52.2%				
南部Ⅱ	40代	66.8%	64.8%				
西部Ⅰ	40代	36.2%	67.2%				

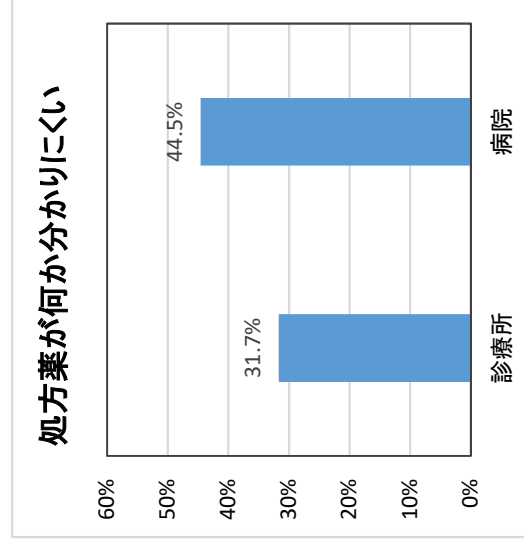
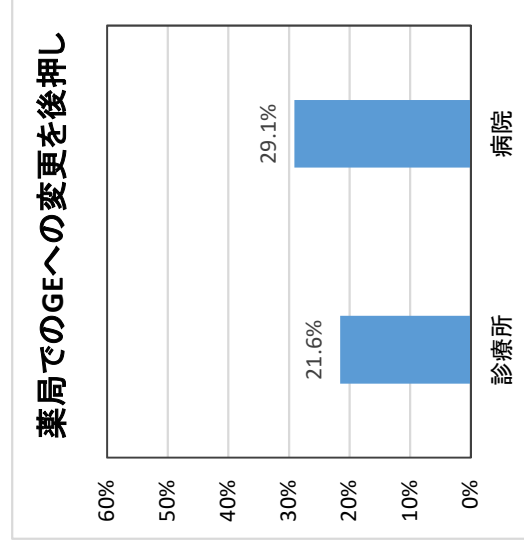
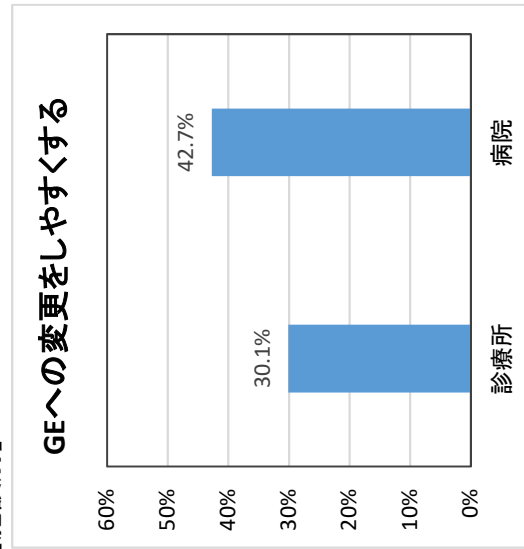
(H30年度医療機関へのアンケート結果から抜粋)

Q:一般名で処方することについて、どのように思われますか。(複数回答) . . . 回答数/施設数で割合算出

【地域別】



【施設別】





薬効群別後発医薬品割合(内服薬)

薬効分類	薬効分類名称	全国と比較して後発割合が			後発割合*		
		(少ない)	0%	(多い)	全国	徳島	全国との差
332	止血剤				64.6%	33.0%	-31.5%
249	その他のホルモン剤(抗ホルモン剤を含む。)				43.6%	19.6%	-23.9%
118	総合感冒剤				56.1%	33.8%	-22.3%
621	サルファ剤				41.9%	20.0%	-21.8%
615	主としてグラム陽性・陰性菌、リケッチア、クラミジアに作用するもの				44.3%	23.4%	-20.9%
316	ビタミンK剤				48.8%	29.3%	-19.5%
116	抗パーキンソン剤				34.4%	17.3%	-17.1%
321	カルシウム剤				26.1%	9.3%	-16.8%
312	ビタミンB1剤				24.7%	8.3%	-16.4%
442	刺激療法剤				46.4%	32.2%	-14.3%
315	ビタミンE剤				33.3%	19.7%	-13.6%
124	鎮けい剤				60.6%	48.0%	-12.5%
629	その他の化学療法剤				47.3%	35.2%	-12.1%
322	無機質製剤				47.7%	35.7%	-12.0%
613	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの				41.5%	29.5%	-11.9%
122	骨格筋弛緩剤				44.4%	33.2%	-11.2%
112	催眠鎮静剤、抗不安剤				47.5%	36.6%	-10.9%
212	不整脈用剤				57.1%	46.2%	-10.9%
213	利尿剤				57.1%	46.2%	-10.9%
429	その他の腫瘍用薬				50.9%	40.0%	-10.9%
117	精神神経用剤				37.4%	26.9%	-10.6%
394	痛風治療剤				41.9%	31.4%	-10.5%
255	痔疾用剤				12.9%	2.4%	-10.4%
614	主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの				57.7%	47.9%	-9.8%
113	抗てんかん剤				23.1%	13.9%	-9.3%
225	気管支拡張剤				43.2%	34.0%	-9.2%
248	混合ホルモン剤				20.8%	11.8%	-9.1%
449	その他のアレルギー用薬				47.1%	38.6%	-8.5%
217	血管拡張剤				72.8%	64.5%	-8.3%
236	利尿剤				68.4%	60.3%	-8.2%
313	ビタミンB剤(ビタミンB1剤を除く。)				85.7%	77.7%	-8.0%
114	解熱鎮痛消炎剤				48.8%	41.2%	-7.6%
214	血圧降下剤				48.5%	41.0%	-7.5%
624	合成抗菌剤				36.9%	29.4%	-7.5%
311	ビタミンA及びD剤				31.8%	24.7%	-7.0%
218	高脂血症用剤				54.1%	47.2%	-6.9%
232	消化性潰瘍用剤				61.2%	54.5%	-6.7%
239	その他の消化器官用薬				48.2%	41.6%	-6.6%
216	血管収縮剤				37.2%	30.8%	-6.4%
317	混合ビタミン剤(ビタミンA・D混合製剤を除く。)				14.0%	7.9%	-6.1%
133	鎮痙剤				54.5%	48.5%	-6.0%
290	その他の個々の器管系用医薬品				6.4%	0.8%	-5.6%
245	副腎ホルモン剤				8.2%	2.9%	-5.3%
625	抗ウイルス剤				27.0%	21.8%	-5.2%
235	下剤、洗腸剤				61.7%	56.6%	-5.1%
259	その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬				23.6%	18.7%	-5.0%
319	その他のビタミン剤				4.5%	0.0%	-4.5%
219	その他の循環器官用薬				39.7%	36.0%	-3.6%
123	自律神経剤				14.5%	11.0%	-3.4%
222	鎮咳剤				29.0%	25.7%	-3.3%
224	鎮咳去たん剤				6.0%	3.4%	-2.6%
121	局所麻酔剤				3.9%	1.4%	-2.5%
339	その他の血液・体液用薬				74.8%	72.4%	-2.4%
617	主としてカビに作用するもの				12.7%	10.3%	-2.4%
619	その他の抗生物質製剤(複合抗生物質製剤を含む。)				2.3%	0.0%	-2.3%
396	糖尿病用剤				26.8%	25.0%	-1.8%
422	代謝拮抗剤				14.9%	13.7%	-1.3%
223	去たん剤				71.1%	70.0%	-1.1%
211	強心剤				24.7%	24.2%	-0.4%
333	血液凝固阻剤				0.1%	0.0%	-0.1%
325	たん白アミノ酸製剤				0.1%	0.1%	0.0%
119	その他の中枢神経系用薬				13.9%	14.0%	0.2%
421	アルキル化剤				0.7%	1.0%	0.2%
611	主としてグラム陽性菌に作用するもの				1.3%	1.6%	0.3%
234	制酸剤				91.0%	91.9%	0.9%
391	肝臓疾患用剤				4.4%	5.6%	1.2%
399	他に分類されない代謝性医薬品				37.5%	40.8%	3.3%
811	あへんアルカロイド系麻薬				10.4%	15.2%	4.9%
233	健胃消化剤				34.4%	41.2%	6.8%
231	止しゃ剤、整腸剤				28.1%	35.1%	7.0%
616	主として抗酸菌に作用するもの				75.9%	85.9%	10.0%
392	解毒剤				42.2%	52.4%	10.2%
441	抗ヒスタミン剤				39.4%	50.6%	11.2%
247	卵胞ホルモン及び黄体ホルモン剤				18.5%	36.4%	17.9%

\* 後発割合 = 後発品数量 / (後発のある先発品数量 + 後発品数量) \* 100

\* 後発品なしまたは数量が少量で計算できない薬効群は省略

薬効群別ジェネリック医薬品割合(外用薬)

薬効分類	薬効分類名称	全国と比較して後発割合が (少ない) (多い) -40% 0% 40%	ジェネリック医薬品割合		
			全国	徳島	全国との差
266	皮ふ軟化剤(腐しよく剤を含む。)		25.4%	5.4%	-20.0%
263	化膿性疾患用剤		25.2%	8.3%	-16.9%
265	寄生性皮膚疾患用剤		32.2%	19.5%	-12.7%
252	生殖器官用剤(性病予防剤を含む。)		25.6%	13.0%	-12.6%
269	その他の外用薬		15.3%	4.6%	-10.7%
333	血液凝固阻止剤		42.7%	33.0%	-9.7%
131	眼科用剤		26.2%	18.9%	-7.3%
264	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤		41.5%	34.6%	-6.9%
114	解熱鎮痛消炎剤		25.2%	19.6%	-5.6%
132	耳鼻科用剤		11.6%	7.4%	-4.2%
239	その他の消化器官用薬		82.3%	79.4%	-2.9%
625	抗ウイルス剤		8.9%	7.2%	-1.7%
821	合成麻薬		1.7%	0.3%	-1.4%
226	含嗽剤		69.1%	68.2%	-0.9%
241	脳下垂体ホルモン剤		0.7%	0.0%	-0.7%
217	血管拡張剤		27.5%	27.0%	-0.5%
267	毛髪用剤(発毛剤, 脱毛剤, 染毛剤, 養毛剤)		100.0%	100.0%	0.0%
121	局所麻酔剤		11.9%	14.0%	2.1%
255	痔疾用剤		26.2%	29.9%	3.7%
235	下剤, 浣腸剤		35.3%	40.5%	5.2%
225	気管支拡張剤		34.7%	42.1%	7.4%
223	去たん剤		31.3%	42.8%	11.5%
245	副腎ホルモン剤		41.2%	57.1%	15.8%
332	止血剤		15.5%	33.6%	18.1%
261	外用用殺菌消毒剤		55.3%	87.7%	32.4%
249	その他のホルモン剤(抗ホルモン剤を含む。)		61.7%	100.0%	38.3%

\* 後発割合 = 後発品数量 / (後発のある先発品数量 + 後発品数量) \* 100

\* 後発品なしまたは数量が少量で計算できない薬効群は省略

## 後発医薬品に変更しやすい薬効群、しにくい薬効群について

\* H30年度の医療機関向けアンケート及び薬局向けアンケートからの集計値を利用

### ○後発医薬品に変更しやすい薬効群

(薬局)

	件	割合
血圧降下剤	193	61%
糖尿病用剤	121	38%
解熱鎮痛剤	146	46%
抗生剤	113	36%
総合感冒剤	93	29%
ビタミン剤	139	44%
抗アレルギー剤	158	50%
催眠鎮静剤	31	10%
気管支拡張剤	55	17%
下剤・浣腸剤	101	32%

(医療機関)

	件	割合
血圧降下剤	250	53%
糖尿病用剤	132	28%
解熱鎮痛剤	216	46%
抗生剤	170	36%
総合感冒剤	134	29%
ビタミン剤	194	41%
抗アレルギー剤	196	42%
催眠鎮痛剤	112	24%
気管支拡張剤	79	17%
下剤・浣腸剤	184	39%

### ○後発医薬品に変更しにくい薬効群

(薬局)

	件	割合
血圧降下剤	42	13%
糖尿病用剤	75	24%
解熱鎮痛剤	26	8%
抗生剤	69	22%
総合感冒剤	18	6%
ビタミン剤	10	3%
抗アレルギー剤	17	5%
催眠鎮静剤	191	60%
気管支拡張剤	37	12%
下剤・浣腸剤	20	6%

(医療機関)

	件	割合
血圧降下剤	82	18%
糖尿病用剤	75	16%
解熱鎮痛剤	18	4%
抗生剤	61	13%
総合感冒剤	10	2%
ビタミン剤	2	0%
抗アレルギー剤	10	2%
催眠鎮痛剤	36	8%
気管支拡張剤	5	1%
下剤・浣腸剤	3	1%

\* 割合については、件数/アンケート回答施設数(%)で求めた